

公開文書

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

【研究課題名】

「2017～2018 シーズン 新潟県における RSV 感染症の流行状況」に関する多施設共同研究

【研究の目的】

RSV の流行パターンが早くなってきており、2017 年～2018 年シーズンの新潟県内における入院加療児の実数を把握します。これにより、パリビズマブによる予防を有効かつ適切に行うことを目的としています。

【情報の利用目的および利用方法】

使用するデータは、個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌、講演会等の発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定されるような情報が公表されることはありません。

【利用または提供する情報の項目】

入院時月齢、入院月日、入院日数、基礎疾患の有無、治療内容（呼吸支持療法：酸素/HFNC/NCPAP/IPPV）、パリビズマブの適応の有無、パリビズマブの使用の有無

【対象者および対象期間】

2017年7月～2018年3月までの期間に新潟県立新発田病院小児科にて入院加療したお子さまの病院診療録からデータを抽出する。

【他の医療機関および各施設の責任研究者】

新潟市民病院	新生児内科	永山	義久
魚沼基幹病院	小児科	和田	雅樹
新潟県立中央病院	小児科	倉辻	言
長岡赤十字病院	小児科	小林	玲
長岡中央病院	小児科	竹内	一夫
済生会新潟第二病院	小児科	田中	岳

【本研究の資金源（利益相反）】

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません

【情報の管理について責任を有するもの】

新潟県立新発田病院小児科 松永 雅道

【お問い合わせ先】

新潟県立新発田病院小児科 松永 雅道

新潟県立新発田病院 0254-22-3121